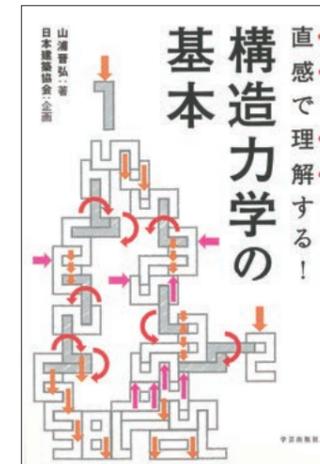


新刊紹介

直感で理解する!
構造力学の基本

著者：山浦晋弘(ヤマウラ・ノブヒロ)
企画：一般社団法人 日本建築協会
発行：株式会社 学芸出版社
仕様：A5判 216ページ
定価：2,400円(税別)

私たちの身の回りにある構造物には、目に見えないいろいろな力(荷重)がかかっている。例えば、住宅ならばそこに生活をしている人の体重や家具の重さ、橋や道路ならば通行人や車両の重さなどがそれにあたる。そして地球の重力も忘れてはならない。このような荷重が橋梁、建築物、乗り物などの構造物のどの部分を伝わって地面に伝達するのかを明らかにすることを構造力学といい、建築を設計したり施工管理したりするために必須の学問であることは技術者の皆さんはよくご存じのことと思う。

例えば、音楽など後から体系づけられた音楽理論を知っていてもすぐに演奏ができるとは限らない。まず、自分で楽器を持って実際に音を出してみることが先で、そうでないと「音を楽しむ」ことはできない。著者は構造力学を同様に捉え、いきなり難しい理論を勉強するより、これまでの経験に基づく「直感」を生かして現象を捉えていくほうが、理解が早いし、応用も利くようになると考えたようだ。それに、いくら難しい問題の解き方や手順を知っていても、それを実際の場面で使えないと全く意味がない。

実際、構造力学の世界においても自分の直感が正しいことがあり、それが構造力学を理解する助けになることがあるそうだ。

著者は2年前、自身の建築実務家・教員としての豊富な経験をもとに、難しい数式を使わずに文章とイラストだけで構造力学と構造設計との橋渡しになるような本が一冊でもあれば良いのではないかと、との思いから『直感で理解する! 構造設計の基本』を執筆したとのこと。

今回は第2弾として、建築を学び実務に当たるうえで知っておくべき構造力学の基本を前回同様、難しい数式は最小限度にとどめ著者手描きのイラストや写真、図表をなるべく多く用いながら平易な文章で解説している。

本書では構造力学や建築基準法で定められた計算方法の解説が多く掲載されている。このほか一級建築士試験にも役立つ「力学問題アラカルト」も付いている。

数学や物理が苦手だけど、初めて、あるいはもう一度、構造力学を勉強しなければならないとお考えの方は一度書店で手に取ってみてはいかがでしょうか。